



もっと

みなみおおさか

社会医療法人 景岳会 南大阪病院

2022年 夏号
VOL.72

地域からよろこばれ、信頼される病院をめざします。

- ◆当院の鼠径ヘルニア（脱腸）に対する手術について
- ◆看護部だより
- ◆デジタルX線透視診断装置導入について
- ◆地域医療推進室のご紹介
- ◆新入医師紹介
- ◆職員リレーコラム

写真：京都市西京区山田谷田山



当院の鼠径ヘルニア(脱腸)に対する手術について



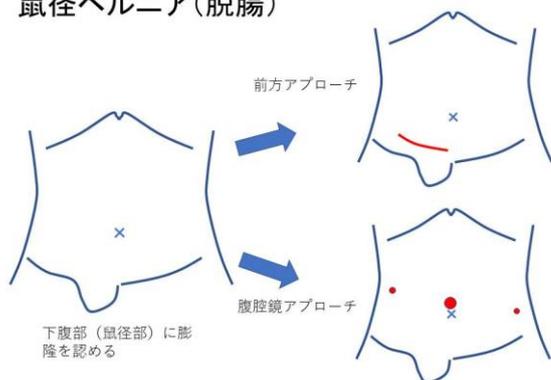
内視鏡外科 副院長
竹村 雅至

ある部位から別の部位に臓器や組織が脱出する状態をヘルニアと呼んでいます。ヘルニアは体の様々な部位に生じる病気で、椎間板ヘルニアや鼠径ヘルニアが知られています。今回は当院の鼠径ヘルニアに対する治療について述べます。

鼠径ヘルニアは鼠径部(下腹部)に膨隆が生じる病態であり、腹部の筋肉の欠損部からお腹の中の腸が飛び出てくることから脱腸とも呼ばれています。幼児期に多いことが知られていますが、筋肉が衰えてくる高齢者の増加とともに、最近では成人鼠径ヘルニアが増加してきています。

鼠径ヘルニア(脱腸)

(図1)



この鼠径ヘルニアはお腹の筋肉の欠損や弱くなることが原因のため、薬や筋肉を鍛えることでは全く治療できず、唯一の治療方法は外科的に穴を塞ぐ手術を行うことです。現在、鼠径ヘルニアの手術はメッシュと呼ばれる薄いシートを用いて穴を塞ぐ術式が一般的ですが、そのメッシュの挿入と固定を鼠径部の皮膚の切開部から入れて体外から行う前方アプローチと、腹腔鏡という手術器具でお腹の中から穴を観察して穴を塞ぐ腹腔鏡アプローチの2種類があります(図1)。

以前は鼠径ヘルニアに対する手術は前方アプローチが主流でしたが、腹腔鏡手術の普及とともに腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の割合が増加し、現在では年間約4万件の鼠径ヘルニアの手術のうち、2万件を

超える手術が腹腔鏡手術で行われています。当院では2014年から腹腔鏡下ヘルニア修復術を導入しています。この腹腔鏡下ヘルニア修復術のメリットとしては①傷が小さい・②術中に両側ヘルニアと診断されても一度で手術ができる(前方アプローチでは無理)・③肉眼で見るとは異なり拡大されて映し出される画面をみて手術をするので鼠径部の解剖学的構造物が確認しやすく安全に行える、ことにあります。

ただし、全ての方に腹腔鏡手術が可能ではなく、①以前に下腹部の開腹手術を受けている、②腹腔内の癒着が高度で広範囲である、③腸管が嵌頓し腸閉塞の状態になっており腸管の拡張がある場合、④以前に前立腺の手術を受けている方、には腹腔鏡下にヘルニア修復術は困難で、その場合には原則として前方アプローチで行ないます(図2)。



当院での鼠径ヘルニアに対する手術は年々増加しており、現在は年間100件以上の手術を行なっております。2014年の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の導入以降は腹腔鏡の手術件数が増加しており、現在では87%以上の手術を腹腔鏡で行なっています(図3)。

鼠径ヘルニアの手術で最も問題となるのは鼠径ヘルニアの再発ですが、腹腔鏡手術でもやはり再発はあるとされています。本邦の集計によると腹腔鏡手術後のヘルニア再発は1~2%とされていますが、当院では導入以降腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を行なった方では鼠径ヘルニアの再発は認めておりません。しかし、今後とも安全に再発を起こさない手術を心がけて行なっていきたいと考えております。鼠径部の痛みや膨隆を自覚する方は当院外科を受診いただければ診断と体に負担の少ない治療が可能ですので、是非受診いただければと思います。

(図2)

腹腔鏡下鼠径ヘルニアのメリットと困難な状況

- 腹腔鏡下ヘルニア修復術のメリット
 - ①傷が小さい
 - ②術中に両側ヘルニアと診断されても一度で手術ができる(前方アプローチではできない)
 - ③肉眼で見るとは異なり拡大されて映し出される画面をみて手術をするので鼠径部の解剖学的構造物が確認しやすく安全に行える
- 腹腔鏡下にヘルニア修復術は困難な状況
 - ①以前に下腹部の開腹手術を受けている
 - ②腹腔内の癒着が高度で広範囲である
 - ③腸管が嵌頓し腸閉塞状態になっており腸管の拡張がある場合
 - ④前立腺の手術を受けた既往がある

(図3)

当院の鼠径ヘルニアに対する手術件数の推移



(年)





看護部新人オリエンテーション



看護部だより



2022年4月1日、春の陽気が気持ちよく、桜がゆっくりと満開になっていく日々の中、31名の看護職員が当院に就職しました。

全体オリエンテーションに続き4月5日より6日間に渡り看護部の様々なオリエンテーションを行いました。

初日は、とても緊張している人、リラックスし友人と話す人、初めて話す同期と仲良く話す人など、思い思いに過ごしていた新人看護師たちでした。私も新人オリエンテーションの担当は今年度初めてであり、初日からとても緊張していました。大きな事故なく、無事に研修を終えられますように！！と研修が始まる前に手を合わせた事が昨日の事のように思い出されます。

実際には、研修が始まると新人さんたちは問いかけに対して恐る恐る手を上げていましたが、日が経つにつれて手が上がるようになり、演習を行うときなども積極的に行動する様子も見られ、良い空気間で研修を進めることが出来ました。また、演習では、注射や採決も実際に行いました。

最終日の4月12日すべてのオリエンテーションと演習が終わり、4月13日からはよいよ各々の配属部署での勤務となりました。スタッフの指導を受けながら、多くの経験を積み知識や技術の習得に励んでいます。私たち先輩ナースも新しく入ってきた後輩ナースに良い背中を見せることが出来るよう、共に励んでいきたいと思えます。



まだまだ未熟な新人看護師ですが「地域からよろこばれ、信頼される病院」づくりの仲間として努力していきます。

改めて、新人看護職員をよろしくお願いたします！！



11階病棟主任 赤井 えり





デジタル X 線透視診断装置導入について



令和 4 年 1 月に Astorex i9（アストレックス アイ 9）という X 線透視診断装置を導入し稼働しています。以前の装置より、大きいモニターを搭載しており、検査中の透視や画像を見やすくなっています。さらに、外科や整形外科などの様々な検査を高画質・低被ばくで行うことができます。今回当院では、トモシンセシス撮影・長尺撮影・DSA を搭載しています。



トモシンセシス撮影

奥行きを知るために撮影します。撮影角度を変えて撮影し、得られた投影画像に対して画像処理することで、そのボリュームデータから奥行方向にスライス情報を持ったデジタル断層撮影が可能です。これにより、CT 室に移動することなく透視検査中に断層情報を得られます。



長尺撮影

下肢や脊椎といった範囲の広い撮影のことです。この装置では、台に患者様が立っているだけで、X 線管と FPD が移動し、収集画像を自動で貼り合わせて 1 枚の画像として再構成します。これにより、高画質な画像が短時間で得ることができます。



DSA

血管造影画像と非造影画像をサブトラクション（引き算）処理することで、血管以外の組織を消去し、血管像だけを抽出する撮影法です。この機能は、濃度分解能が向上するので、造影剤を少量でも画像上で検出することが可能になります。

本装置を導入し、以前に増してより良い検査を提供できるようになりました。検査に対して不安やご不明な点がございましたら、診療放射線技師にお声がけください。





地域医療推進室のご紹介



最近ではよく耳にするようになりました地域連携という言葉ですが、実は南大阪病院の地域医療推進室は設置されてもう20年以上も経っていることをご存じの方は少ないのではないのでしょうか。

設立された当時は、予約を取る業務ですらノウハウも無く、他の医療機関と地域連携を円滑に運用するにはどうすればいいのだろうと考える毎日でした。まだ、数も少なかった医療機関の専任者達が集まる勉強会などにも積極的に参加し、地域の医師会の先生方にもご協力いただきながら、長い年月を得て今の地域連携システムを運用できるようになりました。

また、昨今の医療情勢の変化に伴い、単独の部署であった地域医療推進室でしたが機能分担のため、新たに地域医療部を設立し、看護師と事務職員で運用する地域医療推進室と医療ソーシャルワーカーで運用する医療福祉相談室を同部署に設置することにより、よりよい医療サービスをご提供できるようになりました。



次に、地域医療推進室の業務内容をご紹介します。当室は他の医療機関から紹介を受けてお越しになる患者様に、診察や入院等スムーズな医療をお受けいただくための窓口となっております。

地域の医療機関からご紹介のある患者様について、診察や検査等の事前予約をおこなったり、他の医療機関から様々なお問い合わせに対しての連絡・調整、症例検討会・勉強会の開催を行っております。

また、医療福祉相談室では入院及び通院の患者様が、適切でより良い医療が受けられるよう支援を行うため、看護師や社会福祉士の資格を有する専門職員が、療養についての不安や相談と一緒に考え解決のお手伝いをさせていただいております。



ここで、最近開催した地域の先生方との勉強会の様子をご紹介します。

2020年の年初より世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症はいまだ終息の兆しが見えない状況にあります。このような状況のなか、皆様の生活環境が大きく変化したように、医療機関では様々な感染対策の為の規制が行われ、発生当初より市民公開講座や講演会などを含め、全ての催しは開催中止となりました。それまでは、多目的ホールや講演会場に地域の医療機関の先生方にお集まりいただき、直接お会いして意見交換などの交流を行う形式が一般的でした。しかし、感染対策の観点から今までのような形式では開催ができないこともあり、Web会議形式での開催に移行していきました。今回は、院長をはじめ、演者の医師数名が会議室に集まり症例発表を配信いたしました。こちらの内容はご参加いただいた先生方にリアルタイムで配信され、ご質問などにもその場でお答えできるような仕組みで運用できておりますので、直接ご対面できないこのような状況でも今までと同様の質を確保する努力をしております。今後は、感染対策を徹底しながら、市民公開講座なども含め徐々に元の形式で再開できるようそれぞれの担当スタッフが奮闘しておりますので楽しみにお待ちしておりますと幸いです。

最後に、地域医療推進室は患者様と直接ご対面して業務を行う部署ではありませんが、他の医療機関からのご依頼に対してスムーズに医療連携がおこなえるように今後とも努力してまいります。



新入医師紹介

消化器内科



まつもと ゆうじ
松本 侑士

2022年4月より南大阪病院消化器内科に赴任しました**松本侑士**と申します。私は平成25年に鳥取大学を卒業しました。その後大阪市立大学消化器内科へ入局し、馬場記念病院や東住吉森本病院、大学院を経てこのたび南大阪病院に勤務することとなりました。一日でも早く地域の先生方ならびに患者様に信頼していただける医療を提供できるように一層努力していく次第です。まだまだ未熟者ではありますが、どうぞご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



やなぎだ つよし
柳田 剛志

4月より南大阪病院消化器内科へ赴任いたしました**柳田剛志**と申します。平成29年に大阪市立大学を卒業し、1年目はりんくう総合医療センター、2年目は大阪市立大学医学部附属病院で初期臨床研修を行いました。その後は大阪市立大学消化器内科へ入局し、東住吉森本病院を経て、このたび南大阪病院へ勤務させて頂くこととなりました。

微力ではありますが、患者さまや地域の先生方のお役に立てるよう精一杯努力する所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



やまもと いっき
山本 一輝

本年4月より南大阪病院消化器内科に赴任いたしました**山本一輝**と申します。

私は卒業後1年目の研修を南大阪病院でさせていただきました。この度6年目の医師として南大阪病院で再度勤務することとなり、これまで学んできたことを活かして患者さまや地域の先生方のお役に立てるように励んでいきたいと考えております。

若輩者ではありますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします

外科

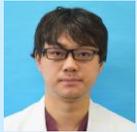


ささき まほ
佐々木 麻帆

2022年4月より南大阪病院消化器外科に赴任しました**佐々木 麻帆**と申します。

私は生まれ育ちは大阪ですが、大学は広島大学でした。2012年に大学を卒業後、初期研修および後期研修の計5年間は奈良県の天理よろづ相談所病院にて研修し、2017年に大阪に戻り大阪市立大学消化器外科へ入局しました。大学病院でさらに5年間勤務し、臨床および臨床研究をしておりました。その間に2人の子供にも生まれ、育児と仕事の両立に日々奮闘しております。

当院では金曜日の午前に外来を担当しております。まだまだ未熟者ですが、外科医としてこれまで以上に様々な疾患に対応し、地域医療に貢献できるよう精進してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



いなづ だいき
稲津 大輝

2022年4月から南大阪病院外科に赴任しました**稲津大輝**と申します。平成26年に大阪市立大学を卒業後、沖縄県にある中頭病院にて初期研修を始め研修終了後2年間同病院にて外科医として勤務しておりました。平成30年に大阪市立大学消化器外科医局に入局後、関連病院で勤務したのち本年より南大阪病院に赴任することとなりました。沖縄での経験を生かし帰阪後も急性腹痛などの緊急疾患や消化器疾患を数多く担当しておりました。南大阪病院においても同様に急性腹痛や消化器疾患にて地域の先生方並びに患者様から信頼いただける医療を提供していくよう精一杯努力して参りますのでこれからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



きくかわ たくや
菊川 拓也

2022年4月より南大阪病院外科に赴任致しました**菊川拓也**と申します。

大阪生まれ大阪育ちで、大阪市立大学を卒業し、多根総合病院にて2年間の初期研修を経て、2021年大阪市立大学附属病院外科専門医プログラムにて1年間大学病院勤務後、本年より南大阪病院で勤務させて頂きたくこととなりました。

患者様に寄り添った丁寧な医療を心掛け、精一杯頑張っておりますのでどうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



かとう きみか
加藤 きみ佳

本年度4月より南大阪病院外科に赴任しました**加藤きみ佳**と申します。2020年に大阪市立大学医学部（現大阪公立大学）を卒業しました。

初期臨床研修は同大学付属病院にて2年間研修を行い、外科医局へ入局、この度南大阪病院で勤務させて頂くこととなりました。

外科の第一歩を南大阪病院で始める機会をいただき大変感謝しております。精一杯頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

内科



はせがわ あきこ
長谷川 晶子

本年4月より当院腫瘍内科に就任いたしました**長谷川晶子**と申します。

卒後17年目の医師で元々は消化器内科医として内視鏡診療に従事しておりましたが、飛躍的に進歩しているがん薬物療法に興味を持つようになり卒後8年目より腫瘍内科医に転科し亀田総合病院、大阪国際がんセンター、阪大病院で研鑽をまいりました。主に消化器化学療法を専門としておりますが、幅広い領域のがん診療が可能で、十分なサポーターシップケアを並行した標準化学療法の実施はさることながら、各科と連携を取りながら合併症・併存疾患・重複癌等を持たれる患者様の診療や、新規抗がん剤の導入、アドバンスケアアプランニングなど、専門機関病院と同等の質の高いがん診療を当院で安全に行えるよう精進してまいります。新規部署の立ち上げで身の引き締まる思いもしておりますが、清掃の行き届いた美しい院内でスタッフ同士も仲がよく、恵まれた環境で連日楽しく仕事をさせて頂きただけに感謝しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新入医師紹介

眼科



いたの みすほ
板野 瑞穂

このたび令和4年4月より南大阪病院眼科に赴任いたしました**板野瑞穂**と申します。
平成14年大阪医科大学眼科学教室に入局しました。地域医療に貢献できますよう、頑張りたいと思っております。御指導のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

整形外科



おおほ たくや
大保 拓也

この度、令和4年4月から南大阪病院に赴任いたしました**大保拓也**と申します。
私は兵庫県出身で、平成23年大阪医科大学を卒業し、大阪医科大学整形外科教室に入局しました。この春に大学院を卒業し、整形外科の中でも脊椎疾患を専門に研鑽を積んで参りました。お困りの症例がございましたら、ご相談していただければ幸いです。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



いわた たける
岩田 長瑠

今年4月より赴任しました整形外科の**岩田長瑠**と申します。大阪医科薬科大学を卒業し、神戸大学付属大学病院にて初期研修を受け、大阪医科薬科大学整形外科に入局致しました。大学病院にて研修を受け、前年度は洛西シミズ病院にて勤務しておりました。地域の先生方、患者様から信頼される医療を提供できるように努力してまいります。御指導御鞭撻の程何卒よろしくお願い致します。

病理診断科



おくの たかひろ
奥野 高裕

本年4月より南大阪病院病理診断科に赴任いたしました**奥野高裕**です。2011年に大阪市立大学（現在は大阪公立大学）を卒業し、初期研修の後に大阪市立総合医療センターにて病理医としての後期研修を行いました。その後大阪市立大学分子病理学教室の博士課程を修了し、再度大阪市立総合医療センターでの勤務を経て、南大阪病院で勤務することになりました。病理医としてはまだまだ若輩者ですが、的確な病理診断を心掛け日々努力していく所存ですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

☕ 職員の'あんなことこんなこと'をリレーで綴る

職員リレーコラム

今回は西国三十三所巡礼についてお話しします。

西国三十三所巡礼は、観音菩薩を祀る33カ所の古寺を巡る、約1300年の歴史をもつ日本最古の巡礼です。

観音様は最も慈悲深い仏様で、衆生の求めに応じて様々な姿に変化して、私たちにめれなく救いの手を差し伸べてくれると言われていています。その姿は33あるとされ、観音霊場が「三十三所」なのも、この事に由来しています。

北端は京都府宮津市、南端は和歌山県那智勝浦町、東端は岐阜県揖斐川町、西端は兵庫県姫路市までの近畿2府4県と岐阜県にまたがって点在する寺院「札所」にお参りし、観音様を供養して納経所で御朱印（宝印）をいただきます。



宝印がすべて揃った御朱印帳は極楽浄土への通行証とされ、冥府で極楽へ導かれると古くから信じられています。

当初、巡礼は僧侶や修験者の修行として行われましたが、現在ではその目的も様々です。私が巡礼を始めたのは父の供養のためでしたが、「札所」は自然豊かな山中にあり、花や紅葉の美しい寺も多く、そのうち癒しも求めて訪れるようになりました。庭や景色を眺めながらリフレッシュし、複雑で丁寧な木組みの建造物に驚き感動しました。失敗し落ち込んでいた時、長い参道途中に記された一言に慰められました。

また、巡礼には難所もあり、目の長い石段に困り果てている高齢のご婦人の御朱印帳を預かり猛ダッシュで往復したことや、大阪を出発した時は快晴だったのに日本海側は大雪で除雪が追い付かずに入山できなかったこともありましたが、地元酒蔵でお買物や、近くの山でトレッキングといったお楽しみもついてきて、私にとって巡礼は本当に心身の健康に結びつくものでした。

今は西国薬師四十九霊場を巡礼中です。薬師如来は病気や災難から救ってくれる仏様。私の大切な人たちが日々健康で平穏に暮らせること、コロナで疲弊した人々の心が癒されることを祈りながら。

臨床検査科 田中 たか子



南大阪病院の理念

地域からよろこばれ、信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1、患者様の意思と権利を尊重し、十分な説明と納得と根拠に基づく医療を提供します。
- 2、常に研鑽につとめ、安心、安全で質の高い医療を提供します。
- 3、地域の中核病院として、他の医療機関との密接な連携をはかります。
- 4、医療を通じて、社会貢献と職員の満足をはかるべく健全な財務体質を構築します。

看護部の理念

地域医療の中心的病院としての使命と役割を自覚し、地域の皆様と社会のニーズに対応できる看護を実践します。

基本方針

- 1、患者様の命の尊厳と人権を尊重します。
- 2、安全で質の高い看護を実践します。

目標

- 1、説明と納得に基づく患者様中心の看護を実践します。
- 2、知識と技術を磨き、豊かな人間性を有する看護職を育成します。
- 3、経営への参画意識を高め、効率的な看護業務を遂行します。
- 4、職員満足度が高まるよう、職場環境の充実に図ります。

患者様の権利と義務

患者様の権利を尊重し、インフォームドコンセント（十分な説明と納得）と自己決定権を大切にした患者様本位の医療を提供していくために、当院とひとりひとりの患者様は、以下のことを確認し合います。

- 患者様は、人間としての尊厳を尊重されながら医療を受けることができます。
- 患者様の医療上の個人的な秘密は守られます。
- 患者様は治療、看護の内容及び病状経過などについて、十分な説明と必要な情報の提供を受け納得のうえ自分の意思で医療を選ぶことができます。
- 患者様は研究途上にある医療を受ける場合、前もって十分な説明がおこなわれます。
- 患者様はお互いの療養環境を守るために、定められた諸規則を守る義務があります。

社会医療法人 景岳会 南大阪病院

〒559-0012
大阪市住之江区東加賀屋1-18-18
TEL 06-6685-0221 (代)
FAX 06-6685-5208
URL <http://www.minamiosaka.com/>



南大阪病院
ホームページ



QRコード

診療受付時間

平日 午前09:00~12:00
午後01:30~04:00
土曜日 午前09:00~12:00
日曜日・祝日 休診

※曜日によって診療内容・時間が変わりますので、詳しくは窓口および外来担当表でご確認ください。

季刊誌：「もっとみなみおおさか」 第72号 2022年7月1日発行
発行所：社会医療法人 南大阪病院
イラストやご意見・ご感想などお待ちしております。あて先/上記連絡先まで

